

第50回神奈川県青少年指導員大会開催

思いやり、その大切さを ～つなごう、心のあたたかさ～

平成29年11月12日（日）、高津市民館大ホールにおいて、県内各地から400人を超える方々の参加を得て、第50回神奈川県青少年指導員大会が盛大に開催されました。

川崎市青少年指導員連絡協議会では、平成28年10月11日に実行委員会を立ち上げ、7区が協力し、アイデアを出し合いながら大会開催に向けて準備を進めてきました。

◆オープニング

大会は、川崎市立高津高等学校箏曲部の演奏で幕を開けました。日頃の練習の成果を存分に発揮し、きれいな音色を奏でる琴の素晴らしい演奏で大会を大いに盛り上げてくれました。



オープニング

◆開会・表彰式

霜越儀一大会実行委員長（川崎市青少年指導員連絡協議会会長）の開会宣言の後、県青少年指導員連絡協議会の石井一也会長、神奈川県的首藤健治副知事、川崎市の福田紀彦市長から主催者挨拶がありました。

続いて来賓の県議会県民・スポーツ常任委員会委員長の斉藤議員から御祝辞をいただきました。

そして、今年度の青少年指導員表彰を受賞された60名の皆様へ感謝状が贈呈されました。来賓の方々をはじめ、会場からも大きな拍手が送られました。



主催者あいさつ

表彰式



◆活動事例発表

川崎市中原区（中原区青少年指導員連絡協議会の活動内容について）及び高津区（体験学習会・ウォークラリー～校外学習活動を通じて～）から発表があり、「地域の特色が表現されていて良かった」「今後の地域活動の参考になった」などの感想が多く寄せられました。



事例発表の様子

◆講演

立正大学文学部社会学科教授の小宮信夫氏を講師に迎えて、「青少年育成に望ましい地域をどう築くかー防犯まちづくりと絆づくりー」をテーマに講演をいただきました。

小宮氏自身がテレビ番組で解説した際の映像を交えながら、身近な犯罪が起こりやすい場所や地域安全マップについて説明し、地域の防犯の重要性について熱く語られました。「今までの防犯に対する見方が変わった」「自分たちのパトロール活動に活かしたい」などの感想が多く寄せられました。



講演の様子

◆終わりに

次回開催地である県央地域の中野隆則大会実行委員長（県央地域青少年指導員連絡協議会会長）から来年度の大会の案内があり、吉田一郎副実行委員長（川崎市青少年指導員連絡協議会副会長）による閉会の言葉で大会の幕を閉じました。